

決算審査特別委員会

委員長 白鳥 誠 副委員長 森山 和博

令和元年度決算関係議案を審査するため、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。分科会審査、意見表明を行った結果、各会計決算を原案どおり認定し、指摘要望事項を市長に提出しました。

分科会

専門的な見地からの詳細な質疑応答！

内容が多岐にわたる決算議案をより詳しく審査するため、分野別に5つの分科会に分かれ質疑を行いました。その一部をご紹介します。

分科会	所管事項
総務	危機管理、防災、総合計画、行政改革、財政など
保健消防	保健医療、高齢者・障害者の福祉、救急、消防、病院など
環境経済	市民協働、文化・スポーツ振興、環境保全、ごみ、経済振興、農業など
教育未来	子どもの福祉、子育て、教育、生涯学習など
都市建設	まちづくり、公園、住宅、道路、上下水道など

環境経済分科会

災害ごみが処理能力を超えた場合の対応は

問 昨年の台風等被害により排出されたごみ量はどの程度か。また、清掃工場の処理能力を超えた場合の対策は。

答 昨年の台風等の被害により排出された災害ごみは、約3,500トンである。これに加え、昨年9月に焼却ごみが約2,000トン増加しており、その一部は災害に起因していると考えている。なお、処理能力を超えた場合は、近隣都市との相互応援協定に基づく応援要請を行うこととなる。



たくさんの災害ごみが積まれた環境事業所の仮置き場

意見表明

予算の使い方について会派の見解を表明！

会派を代表して5人の議員がそれぞれ認定・不認定の立場から意見表明を行いました。その概要をご紹介します（通告順に掲載）。

認定 未来立憲民主ちば、公明党千葉市議会議員団、市民ネットワーク、自由民主党千葉市議会議員団

不認定 日本共産党千葉市議会議員団

3 日本共産党千葉市議会議員団

大型開発を見直し、市民福祉の向上を

国民健康保険料、介護保険料の値上げで負担増を押し付けるほか、心身障害者福祉手当カット、おむつ支給事業改悪など、真に必要な福祉がカットされています。公的責任を後退させ、切り捨てられた弱者に自己責任を求める新自由主義の千葉市版であり認められません。不急の新市庁舎建設や不要な競輪場建設など大型開発は抜本的に見直し、予算を市民福祉の向上に振り向けるべきです。

可決した意見書

8件の意見書を審議・可決し、国会や関係行政機関に提出しました。

- 新型コロナウイルス感染症患者受け入れ施設及び検査体制の拡充等に関する意見書
- 防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書
- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

- 内水氾濫対策を強化推進するための支援を求める意見書
- 貸切バス事業者への支援等を求める意見書
- 地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書
- コンビニ交付サービスを活用した罹災証明書の交付等を求める意見書
- 新型コロナウイルス感染症対策のさらなる充実・強化を求める意見書

請願の結果

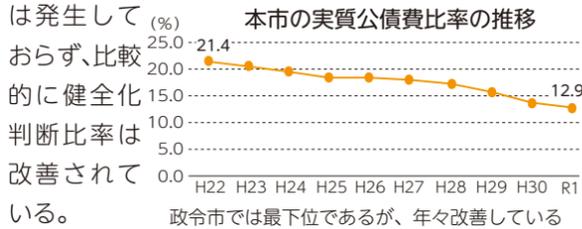
- 千葉市立病院の再整備基本構想(案)の市民に向けた説明の場を求める請願 **不採択**
- 「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願 **不採択**

総務分科会

健全化判断比率の改善状況は

問 財政の健全化判断比率は改善されているのか。他政令市と比較してどのような状況か。

答 令和元年度決算の実質公債費比率は12.9%で、政令市の中では引き続き最下位であったが、将来負担比率は138.3%で、前回から2つ順位を上げて15位となっている。そのほか、実質赤字比率は発生して



教育未来分科会

避難所としての公民館の今後は

問 昨年度は避難所として公民館が利用されたが、今後に生かしたいことは。

答 昨年の避難所開設時には、長期間の停電による混乱が生じたほか、避難者の受け入れが困難となった公民館もあった。この経験から、指定管理者との連携を強化し、避難所運営などの方向性に関する防災対策部門等との意見交換結果の周知徹底を図るほか、施設の充実として、屋根防水やトイレの洋式化などの修繕工事を進めたい。



経験を生かした避難所運営が求められる

1 未来立憲民主ちば

本市の資源を生かした魅力あるまちづくりを

決算は一般会計で58億円の黒字、健全化判断比率も改善し、全会計の市債残高は9年連続で削減され財政健全化が進められています。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の準備等の着実な推進、待機児童ゼロの5年ぶり達成などを評価します。新型コロナウイルス感染症対策や将来負担とのバランスに配慮しつつ本市の資源を生かした魅力あるまちづくりを求めます。

4 市民ネットワーク

市民が必要とする支援の着実な推進を

市民の暮らしや健康を支える各種事業に加え、子育てなど将来に向けた事業にも積極的に取り組んでおり、工夫した施策展開を評価します。歳入確保と歳出抑制の推進により適切な財政運営が行われたと判断しますが、高い公債費割合が課題です。新型コロナの影響や市民生活の変化を見据え、新たな事業展開を行い、市民が必要とする支援をきめ細やかに着実に推進することを求めます。

保健消防分科会

コロナ禍の中、生活困窮者対策の状況は

問 新型コロナウイルス感染症が拡大する中、様々な生活困窮者対策が行われているが、どのような状況か。

答 住居を喪失する恐れのある離職者等に家賃相当額を支給する住居確保給付金や、市社会福祉協議会が窓口となって実施する緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付の利用が多くなっている。今後、サービス業、観光業等の雇用状況によっては、生活困窮に関わる相談が増加すると考えている。



生活困窮に関する相談は増えている

都市建設分科会

住宅団地活性化の対策は

問 人口減少・高齢化が顕著に表れている住宅団地の活性化に向けた取り組みは。

答 団地では、安心して住み続けられる生活環境やコミュニティづくり、多様性のある住まい方による団地の新たな価値づくりなどが必要。例えば、団地に起業スペースを設け、若い世代や子育て中の女性を中心に起業して住んでもらうモデル事業やシェアサイクルを導入するなどの実験・検証を積み重ね、それを他の地域に広げていく。



花見川団地に設置されたシェアサイクル(市民や来街者の新たな移動手段に)

2 公明党千葉市議会議員団

成長戦略を見据えたさらなる努力を

一般会計の実質収支増は土地売却収入の影響が大きく、楽観できないが、主要債務総額は令和3年度までの目標額を達成するなど、財政健全化に向けた取り組みにも進展が見られると判断しました。今後も財政健全化へのさらなる取り組みとともに、市民福祉の維持・向上、活力ある千葉市への復興を目指し、ウィズコロナ、ポストコロナの成長戦略を見据えた一層の努力を求めます。

5 自由民主党千葉市議会議員団

財政健全化の継続と市民の要望に沿う予算編成を

一般会計の決算は、実質収支が58億円の黒字となり、財政健全化の取り組みの成果として一定の評価をしますが、病院事業の赤字や基金からの借入残高は多額であるなど財政状況はいまだ厳しく、今後も財政健全化に向けた取り組みを確実に進める必要があります。新年度の予算編成では、市民の切実な要望や我が会派の指摘をしっかりと受け止め、的確な対応を求めます。